

「法然と極楽浄土」

の見どころ解説



阿弥陀如来立像(見返り阿弥陀)
鎌倉時代・13世紀 山形・善光寺

国宝 法然上人絵伝巻第三十七
鎌倉時代 14世紀 京都・知恩院蔵

九州国立博物館開館20周年記念 | 放送100年 | 読売新聞創刊150周年

特別展 「法然と極楽浄土」

2025年10月7日(火) - 11月30日(日)

平安時代末に活躍した僧、法然上人(1133～1212)をテーマとする特別展「法然と極楽浄土」について、その見どころを解説します。

平安時代末から鎌倉時代はじめにかけて、争乱や災害、飢饉の頻発によって世は乱れ、人々は疲弊していました。そのような中、比叡山で学び、源信(942～1017)の著作に導かれて、中国唐代の阿弥陀仏信仰者である善導(613～681)の教えに接した法然は、承安5年(1175)、阿弥陀仏の名号を称えることによって誰もが等しく阿弥陀仏に救われ、極楽浄土に往生することを説き、浄土宗を開きました。開宗から850年を契機に開催する本展では、国宝「阿弥陀二十五菩薩来迎図」(京都・知恩院)や国宝「綴織當麻曼陀羅」をはじめとする国宝6件、重要文化財45件を含む113件を展示します。法然の生き方や教え、浄土宗の歴史を伝える貴重な名宝をご紹介します。

お申込方法:

九経調ホームページ(<https://www.kerc.or.jp>)
またはQRコードよりお申し込みください。

★登録完了後、お申込確認メールが自動返信されます。
(ご参加方法、参加用URL、キャンセル方法記載)

- ※1: ネット配信サービス「Zoom」にてライブ配信致します。事前のアプリインストール(無料)を推奨しますが、それが難しい方は、WEBブラウザ(Google Chrome)からご参加ください。
- ※2: 安定したWi-Fi環境下でご視聴ください。
- ※3: 参加者の映像・音声・お名前などは表示されません。
- ※4: 状況により、中止となる可能性があることをご承知おきください。

締切: 10月21日(火)17:00 ※事前のお申込が必要です

参加費: 無料

定員: 50名



2025年 10月 22日(水)

18:30～19:30

オンライン開催(Zoomウェビナー)

講師: 森實 久美子 氏

(九州国立博物館 学芸部文化財課 資料登録室長)

静岡県生まれ、香川県育ち。大学において日本・東洋美術史を学ぶ。
奈良国立博物館を経て、2010年より九州国立博物館に勤務。

■担当した主な展覧会

特別展「ボストン美術館—日本美術の至宝—」2013年1月1日～3月17日

特別展「京都 高山寺と明恵上人—特別公開 鳥獣戯画—」2016年10月4日～11月20日

特別展「京都 醍醐寺—真言密教の宇宙—」2019年1月29日～3月24日

特集展示「うるわしき祈りの美—高麗・朝鮮時代の仏教美術—」2023年9月5日～10月15日